



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月4日

上場会社名 タキロンシーアイ株式会社  
 コード番号 4215 URL <https://www.takiron-ci.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 一也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 大久保 俊哉  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 06-6453-3845

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	64,175	9.3	3,675	1.0	3,783	1.8	2,086	11.2
2020年3月期第2四半期	70,738	3.5	3,638	18.6	3,716	18.8	2,350	27.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,726百万円 (27.6%) 2020年3月期第2四半期 2,136百万円 (37.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.43	
2020年3月期第2四半期	24.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	134,946	83,194	60.5	838.76
2020年3月期	144,956	82,840	56.1	835.82

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 81,665百万円 2020年3月期 81,362百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		13.00		24.00	37.00
2021年3月期		10.00			
2021年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当14円00銭 記念配当10円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	5.3	7,000	5.1	7,300	4.1	4,000	69.4	41.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	97,500,000 株	2020年3月期	97,500,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	135,725 株	2020年3月期	155,980 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	97,357,485 株	2020年3月期2Q	97,373,518 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	P. 9
(会計方針の変更) .....	P. 9
(セグメント情報等) .....	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症により停滞していた経済活動の制限緩和で持ち直しに向かってはいるものの、依然として厳しい状況となっております。感染再拡大への懸念もあり、先行きについては不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は64,175百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は売上原価および販売管理費の低減により3,675百万円（前年同期比1.0%増）、経常利益は3,783百万円（前年同期比1.8%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有株式の時価下落による特別損失の計上もあり、2,086百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

次に、事業セグメント別の概況をご報告します。

#### 建築資材事業セグメント

住設建材事業は、主力のポリカーボネート製採光建材および住設資材において、コロナ禍における巣ごもりによりホームセンターでの需要は増加しましたが、新設住宅着工戸数の低迷により減収となりました。また、サイン事業についてもユーザーの広告宣伝費削減の影響を受け、企業向け需要が大幅に落ち込み、事業全体としては減収となりました。

床・建装事業は、床部門において、コロナ禍によるマンション改修工事の延期により減収となりました。建装部門においても、コロナ禍により国内の建築物向けは大きく落ち込み、海外についても、北米、欧州、中国市場向け案件においてキャンセルや遅延が発生し、事業全体としての売上は大幅な減収となりました。

その結果、建築資材事業セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は20,074百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益は892百万円（前年同期比38.0%減）となりました。

#### 環境資材事業セグメント

アグリ事業は、大口のハウス物件受注があったものの、前年の中部・関西圏での風害需要の反動、コロナ禍による生産者買い控えや事業物件の遅れ・延期等の影響が大きく、農業用フィルム・ハウス関連資材ともに伸び悩み、減収となりました。

インフラマテリアル事業においても、長梅雨やコロナ禍による工事への影響が大きく、災害復興および国内インフラ整備工事の完工やハウエル管販売および更生管事業の堅調な推移があったものの、減収となりました。

その結果、環境資材事業セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は25,514百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は763百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

#### 高機能材事業セグメント

高機能材事業は、半導体・FPD設備投資に回復の兆しが見られ、主力の工業用プレートが増収となりました。PETプレートも飛沫防止パネル向けが大きく伸長しました。通信機器やデータセンター設備に使われるナノ材料も引き続き大幅な増収となりました。一方、マイクロモータ、光学用ポリカーボネートシート、眼鏡フレーム材料は新型コロナウイルスによる世界的な消費低迷の影響を受け大幅減収となり、事業全体では減収となりました。

その結果、高機能材事業セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は8,102百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は640百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

#### 機能フィルム事業セグメント

ボンセット事業は、シュリンクフィルムが国内販売および欧州市場で苦戦したものの、北米市場における新型コロナウイルスによる巣ごもり需要により増収となりました。

サンジップ事業は、ジッパーテープが、日本国内、アジア、欧米を中心に堅調に推移し、増収となりました。

その結果、機能フィルム事業セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は10,339百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は1,195百万円（前年同期比116.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より10,010百万円減少し、134,946百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金、預け金が減少したことによるものです。

一方、負債は、前連結会計年度末より10,364百万円減少し、51,751百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、未払法人税等などが減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末より354百万円増加し、83,194百万円となりました。自己資本比率は、60.5%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、9,876百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、315百万円の支出となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益3,383百万円、売上債権の減少5,081百万円、減価償却費2,586百万円の収入要因があったものの、仕入債務の減少額3,474百万円、法人税等の支払額6,211百万円、退職給付に係る負債の減少額1,552百万円の支出要因によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,502百万円の収入となりました。これは、主に有形固定資産の取得2,834百万円の支出要因があったものの、預け金の減少7,469百万円の収入要因によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,053百万円の支出となりました。これは、主に配当金の支払額2,339百万円、短期借入金の減少額571百万円の支出要因によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの事業活動に与える影響が不確定であり、合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、2020年10月時点での当社グループの業況および入手可能な情報に基づき2020年10月23日に「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」において公表しております。詳細はそちらをご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,746	9,876
受取手形及び売掛金	38,036	32,564
電子記録債権	7,182	7,558
商品及び製品	13,779	13,836
仕掛品	3,435	3,717
原材料及び貯蔵品	5,431	5,755
預け金	12,220	4,751
その他	1,378	2,328
貸倒引当金	△46	△32
流動資産合計	90,165	80,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,604	15,356
機械装置及び運搬具(純額)	9,272	10,281
土地	12,903	12,900
建設仮勘定	1,909	916
その他(純額)	2,333	2,578
有形固定資産合計	42,023	42,033
無形固定資産	2,956	2,773
投資その他の資産		
投資有価証券	3,274	3,690
繰延税金資産	3,598	3,238
その他	2,939	2,857
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,810	9,783
固定資産合計	54,790	54,589
資産合計	144,956	134,946

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,854	22,530
電子記録債務	4,488	3,819
短期借入金	5,085	4,429
未払法人税等	4,854	869
賞与引当金	2,204	2,183
その他	7,197	6,845
流動負債合計	49,683	40,677
固定負債		
繰延税金負債	476	410
退職給付に係る負債	8,986	7,391
資産除去債務	157	157
その他	2,811	3,113
固定負債合計	12,432	11,074
負債合計	62,115	51,751
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	30,981	30,981
利益剰余金	36,738	36,485
自己株式	△100	△86
株主資本合計	82,808	82,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△530	16
繰延ヘッジ損益	△3	△5
為替換算調整勘定	△536	△568
退職給付に係る調整累計額	△376	△346
その他の包括利益累計額合計	△1,446	△903
非支配株主持分	1,478	1,529
純資産合計	82,840	83,194
負債純資産合計	144,956	134,946

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	70,738	64,175
売上原価	51,284	45,547
売上総利益	19,454	18,627
販売費及び一般管理費	15,816	14,952
営業利益	3,638	3,675
営業外収益		
受取配当金	62	62
受取賃貸料	78	72
その他	163	186
営業外収益合計	303	320
営業外費用		
支払利息	61	34
売上割引	28	27
賃貸収入原価	50	38
その他	83	112
営業外費用合計	225	212
経常利益	3,716	3,783
特別利益		
固定資産売却益	71	4
投資有価証券売却益	37	0
事業譲渡益	78	-
特別利益合計	187	4
特別損失		
固定資産処分損	83	40
ゴルフ会員権評価損	-	0
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	46	363
特別損失合計	130	404
税金等調整前四半期純利益	3,774	3,383
法人税等	1,393	1,172
四半期純利益	2,380	2,210
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	124
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,350	2,086



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,380	2,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	547
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	△353	△59
退職給付に係る調整額	△3	30
その他の包括利益合計	△244	515
四半期包括利益	2,136	2,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,136	2,629
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	97

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,774	3,383
減価償却費	2,149	2,586
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△409	△1,552
賞与引当金の増減額 (△は減少)	81	△20
投資有価証券売却損益 (△は益)	△37	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	46	363
固定資産処分損益 (△は益)	12	36
受取利息及び受取配当金	△68	△79
支払利息	61	34
売上債権の増減額 (△は増加)	8,439	5,081
たな卸資産の増減額 (△は増加)	308	△677
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,549	△3,474
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額 (△は減少)	△509	-
事業譲渡損益 (△は益)	△78	-
その他	△793	170
小計	8,428	5,852
利息及び配当金の受取額	68	79
利息の支払額	△68	△35
法人税等の支払額	△1,402	△6,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,025	△315
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,592	△2,834
有形固定資産の売却による収入	1,876	6
無形固定資産の取得による支出	△468	△175
投資有価証券の取得による支出	△485	△8
投資有価証券の売却による収入	61	0
事業譲渡による収入	95	-
預け金の増減額 (△は増加)	173	7,469
その他	△177	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,517	4,502
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	317	△571
リース債務の返済による支出	△124	△95
長期借入金の返済による支出	△15	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,657	△2,339
非支配株主への配当金の支払額	△111	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,590	△3,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,824	1,129
現金及び現金同等物の期首残高	6,835	8,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,659	9,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	23,496	28,353	8,612	10,022	70,485	253	70,738	—	70,738
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	144	275	1,168	21	1,609	—	1,609	△1,609	—
計	23,641	28,628	9,781	10,044	72,095	253	72,348	△1,609	70,738
セグメント利益	1,439	963	554	552	3,510	57	3,568	69	3,638

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	20,074	25,514	8,102	10,339	64,030	145	64,175	—	64,175
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	240	1,129	18	1,449	0	1,449	△1,449	—
計	20,135	25,755	9,231	10,357	65,479	145	65,625	△1,449	64,175
セグメント利益 又は損失(△)	892	763	640	1,195	3,491	△15	3,476	198	3,675

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。